

科目名	チーム医療			ナンバリング	INE351	授業形態	講義
対象学年	3年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	鈴木久美子	担当教員	鈴木久美子 本多つよし 鎌田真理子 富岡節子 縦山定美				

授業の概要	医療施設で働く様々な職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれ専門スキルを発揮することで入院・外来における患者の生活の質(QOL)の維持・向上が図られている。ここでは、医師、医療ソーシャルワーカー、薬剤師などのメディカルスタッフの役割と看護職との連携について学修する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療の重要性について理解できる 2. チーム医療における医師、看護職、薬剤師、ソーシャルワーカーそれぞれの役割について理解できる 3. 患者の生活の質(QOL)の維持・向上のために看護職と他職種連携について理解できる 						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義で示されるスライドの内容や課題について、自分の言葉で説明できるようになることを目標にして学習に取り組む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療の重要性について理解できる 2. チーム医療における医師、看護職、薬剤師、ソーシャルワーカーそれぞれの役割について理解できる 3. 患者の生活の質(QOL)の維持・向上のために看護職と他職種連携について理解できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム医療の重要性について理解でき、自分の考えを説明できる 2. チーム医療における医師、看護職、薬剤師、ソーシャルワーカーそれぞれの役割について理解できる 3. 患者の生活の質(QOL)の維持・向上のために看護職と他職種連携について理解でき、看護職に役割について説明できる

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					100%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
出席			○	○			加点はしない。欠席は減点となることがある

課題、評価のフィードバック	期末試験解答用紙は、学生から要請があったらいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	チーム医療概論	チーム医療の重要性と医療施設における現状について解説する(担当:鈴木久美子)	
	第2回	チーム医療:医師の立場から	チーム医療における医師の役割について解説する(担当:本多つよし)	
	第3回	チーム医療:看護職の立場から	チーム医療における看護職の役割について解説する(担当:鈴木久美子)	
	第4回	チーム医療:薬剤師の立場から	チーム医療における薬剤師の役割について解説する(担当:富岡節子)	
	第5回	チーム医療:ソーシャルワーカーの立場から	チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割について解説する(担当:鎌田真理子)	
	第6回	チーム医療の現状①:クリティカルケア	クリティカルケアにおけるチーム医療の現状について解説する(担当:樫山定美)	
	第7回	チーム医療の現状②:リエゾン精神看護	リエゾン精神看護におけるチーム医療の現状について解説する(担当:検討中)	
	第8回	チーム医療の現状③:WOCケア	WOCケアにおけるチーム医療の現状について解説する(担当:柴崎真澄)	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	期末試験を実施する。試験範囲は全範囲とする。		
授業の進め方		オムニバス形式で講義を展開する。		
授業外学習の指示		<p>チーム医療についての図書を事前に読んでおく。配布資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科書で確認するか教員に質問する。次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、理解しておく。</p> <p>(授業外学習時間: 毎週 90 分)</p>		

教科書	資料は適宜配布する
参考書	<p>鷹野和美編集:チーム医療論 医歯薬出版株式会社 福原麻希著:チーム医療を成功させる10か条 中山書店</p> <p>細田満和子著:チーム医療とは何か 日本看護協会出版会</p>
参考URLなど	なし
その他	なし